

水産物来週の見通し（5/17～5/22）

【鮮魚の概要】

屈斜路、阿寒のチップが本格的に始まり、松川の入荷が増加します。
鱒が増えていて、時鮭の水揚げ増加も予想されます。

【主要品目】

鮮マグロ⇒養殖本マグロ主体の入荷ですが、輸入バチマグロ、国産バチマグロ少々入荷予定あり。
宮城県塩釜産、巻網本マグロ入荷予定あり。

ホタテ ⇒道東、オホーツクの2地区での水揚げ。水揚げ数量は相当少なめで、冷凍の柱の引き合いが強く、活貝輸出で海外からの引き合いが強く、浜高傾向。

ホッキ ⇒胆振地方が禁漁となり、道東中心の入荷。価格は上げ傾向。

ウニ ⇒オホーツク海解禁。価格安定。

貝ツブ ⇒襟裳産中心の入荷、価格は横ばい。

キンキ ⇒オホーツクからの入荷。価格は上げ傾向。

ヒラメ ⇒日本海方面の水揚げが増加傾向。価格は下げ傾向。

毛ガニ ⇒太平洋産が中心の入荷。入荷少なめ。

カレイ ⇒真がれいは日本海から日高、太平洋に切り替わり、価格、数量安定。
黒がれいは数量安定。メスが減り価格は上げ気味。オスは安値安定。

やりいか⇒青森西海岸、松前産棒受けの水揚げが終盤に近付き減っている。
青森下北産定置は水揚げが好調に推移。大サイズの価格は下げ傾向で、小サイズは横ばい。
コロナの影響で刺身用に使われるサイズが軒並み価格ダウン。

本鱒 ⇒日高中心の入荷。数量増加傾向、価格不安定。

アサリ ⇒厚岸、尾岱沼方面からの入荷。数量安定、価格安定。

エビ ⇒ぼたんえびは、日本海、えりもからの入荷。日本海側でしまえびの入荷。
南蛮えびは、羽幌、増毛、余市より入荷。水揚げ増加傾向。ぼたんえび、南蛮えびともに
価格不安定。